

令和元年度 第2回学校評価（後期評価）についての学校所見

1月の後期評価アンケートは、全家庭の72%の保護者の皆様からご提出いただき、D評価項目別や自由欄に53通のご意見をいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見すべてにお答えはできませんが、アンケートの数値や学校評議員のご意見も反映させ、学校として今後の教育活動について回答させていただきます。

今後とも、保護者や地域の皆様からのご意見を受け止め、参考にさせていただきながら、よりよい上石神井中学校をつくってまいりたいと考えております。

1 学習環境について

生徒アンケートでは教室の雰囲気「落ち着いている」とするA評価が17%、「どちらかと言えばそう思う」のB評価44%という結果でした。また、保護者アンケートではA評価が19%、B評価を合わせると74%という結果で、前期より7ポイント後退しました。しかし、生徒アンケートの「真剣に授業に参加している」では42%の生徒がA評価と回答しており、B評価「どちらかと言えばそう思う」を合わせれば90%です。この結果から、真剣に取り組もうとする生徒は多いが、一部の生徒が集中できていないことや、私語やふざけてしまう授業があることがうかがえます。実際に校長等の教室巡回時に、担当教員や時間帯によって落ち着かない場面を見ることがあり、課題だと感じています。保護者自由意見にも「騒がしい生徒」に対して粘り強く指導してほしいとありました。改善に向けた取組はすでに始まっていますが、集中できない一部の生徒も含め、全体の学ぶ意欲の向上や分かりやすい授業の工夫、生徒間で注意し合う姿勢を育成し、学習環境の改善に努めてまいります。

2 基礎学力の定着に向けた取組や指導法改善について

基礎学力向上のための取組について、保護者アンケートではA評価19%、B評価55%という結果でしたが、生徒はA評価59%、B評価33%という結果で、前期とほぼ同様の結果でした。2学期の補習は東京未来塾の講師がなかなか見つからず、本校の教員が指導したため、学年によって十分な時間が保証できないこともありました。

また、授業の工夫についても、AB評価合わせて90%の生徒が工夫していると評価しています。しかし、保護者の自由意見には教員によって教え方が異なるとの指摘や、欠席生徒の実技テスト等の追加実施について指摘がありました。今年度導入されたICT機器をさらに活用し、基礎基本の定着に向けた授業改善、補充教室の充実に努めます。

各教科では基礎基本の定着に向けて小テストなども定期的実施しています。家庭学習の充実も重要ですのでご指導をお願いします。

3 家庭学習について

生徒アンケートでは「時間が増えた」A評価44%、B評価30%という結果でした。保護者アンケートではA評価20%で、前期よりやや向上した程度でした。自由意見は

「家ではやらない」「テスト前しかやらない」等でした。また、3年生の保護者からは受験前の冬休みの宿題が多すぎるという意見がありましたが、同時に「学力の二極化」との意見もあります。学校では各教科の指導計画に沿って、必要な課題を出していますので、ぜひ、ご理解とご指導をお願いします。

4 学校生活・生活指導について

「充実した学校生活を送っている」については69%の生徒がA評価、「相手の立場に立って考えたり行動したりする」ではA評価生徒42%、保護者28%で、両者ともB評価を加えると86%以上で、前期に比べ向上しています。しかし、重篤ないじめ問題は報告されていないものの、生徒間でからかいや不適切な言動等、軽微ないじめも発生しています。次に「規律ある生活を送る」ではA評価生徒43%、保護者37%、『「あじみこし」(生活習慣)を意識した生活』ではA評価生徒34%、保護者19%で、改善はわずかでした。本項目については、教員の意識も前期に比べて低くなっており課題です。学校として一貫した指導観や指導姿勢をもって指導にあたるよう改善を図ります。

また、保護者自由意見の中で、校則の見直しや問題行動発生時の連帯責任の弊害についていただきました。ルールや連帯責任については、義務教育段階では集団の一員としての自覚を高め、相手への配慮や思いやりの心を育てて集団生活や集団の一体感を高めるためには必要だと考えます。校外学習などのルールは実行委員の生徒が主体的に作ったものもあるので、生活指導部や生徒会・代表委員会担当教員等とも協議し、考えてまいります。また、道徳科の授業でも取り上げて指導してまいります。

そして、基本的な生活習慣の定着や思いやりの心の育成は、学校だけで育成できるものではありません。ご家庭でも積極的にあいさつを交わす、思いやりのある言動について一緒に考えるなど日常的な取組をよろしくお願いします。なお、学校生活についてご家庭でお気づきの点がありましたら、すぐに学校にご連絡ください。

5 教員の生徒指導力、接遇について

保護者自由意見では、教員の言葉遣いや部活動指導における言動について、前期に引き続き人権への配慮が必要との厳しい指摘をいただきました。該当教員には個別に繰り返し指導していますが、改善されなければ服務違反ととらえ処分も視野に入れて指導を重ねていきます。教員全体については今後も体罰防止や人権感覚を高める校内研修、電話対応などの接遇に関する指導を実施していますが、再度、研修を実施し注意喚起しました。今後も何か気になることがありましたら、すぐに副校長までご連絡ください。

接遇についてはAB評価合わせて91%が「おおむねよい」という評価でした。ただし、欠席連絡時の電話が通じないというご指摘をいただきました。電話回線の増設についてはこれまでも再三、区の担当課にお願いしていますが、難しい状況です。大変申し訳ありません。また、ご案内の通り8時15～25分は教職員打合せなので、電話連絡は避けていただきますようお願いします。

6 教育相談の充実について

「相談にのってくれる」A評価生徒は46%、保護者33%で、AB評価を合わせると

86%以上という結果で、5ポイント上昇しました。保護者意見は特にありませんでした。配慮を要する生徒の指導については、今年度も週1回の定例会議を実施し、特別支援教室の教員や養護教諭、スクールカウンセラー、区のスクールソーシャルワーカー等が参加し、組織的に個々の生徒の状況に応じた指導ができるよう協議して実践しています。ご家庭でご心配な点やお気づきの点がありましたら、いつでも話しやすい教職員にご相談ください。

7 美化活動・安全指導について

美化活動については、生徒と保護者アンケートの両方ともA B評価を合わせて84%以上で「おおむねよい」という評価でした。安全指導・避難訓練についても、生徒と保護者アンケートの両方で、A B評価を合わせると90%以上で「おおむねよい」という評価でした。次年度も様々な災害を想定した訓練を実施してまいります。

8 積極的な学校情報の公開、学校公開について

保護者A評価45%、B評価45%という結果で、「おおむねよい」という評価でした。今後も適切な情報提供に努めてまいります。

9 部活動について

57%の生徒がA評価で、B評価も合わせると83%が「おおむね満足している」状況でしたが、保護者アンケートではA評価20%、B評価38%で合計58%が「おおむね満足」という状況でした。D評価の主な理由は、前期と同様に部活動の種類、指導方法や時間、帰宅時間でした。部活動の種類については、現状の施設設備と教員の専門性等から新設することは難しいと考えています。校庭利用の部活動はやや余裕があるものの、体育館は狭く大変厳しい状況です。また教員の指導姿勢については、5で触れたとおりです。今後も改善に向けて指導してまいります。

10 給食の献立等について

今回から取り始めた生徒アンケートでは、61%の生徒がA評価でA B評価を合わせると93%が「おおむねよい」という結果でした。保護者アンケートもA B評価合わせて88%が「おおむねよい」との結果でした。保護者自由意見では「味の改善を」との指摘もいただきました。校長・副校長も毎日検食し味付けや鮮度などについて評価しています。給食の献立はアレルギー体質の生徒も一緒に食べられ、バランスも良いことが重要です。今後も安全安心でおいしい給食の提供に努めますので、ぜひ、試食会に参加し、ご意見をください。

11 適切な進路指導、評価評定について

進路指導について、生徒アンケートでは、52%の生徒がA評価でA B評価を合わせると90%が「おおむねよい」という結果でした。保護者アンケートもA B評価合わせて84%が「おおむねよい」との結果でした。また、評価評定については生徒A評価が47%でA B評価合計が86%という結果、保護者A B評価合計が80%という結果でし

た。保護者意見で、進路指導の詳細な計画を知りたいといただきました。何らかの形で周知できるよう工夫したいと考えますが、講演会などは外部講師の予定に合わせて計画を変更する場合がありますのでご承知おきください。次に、受験準備の Web 出願への対応については、今年度の反省を行い工夫していきたいと思えます。

評価評定に疑問があった場合の対応ですが、評価の規準や精度を高めることはもちろん、丁寧に説明するよう指導をいたします。遠慮せず申し出てください。ただし講師の教科については勤務日が決まっているので日程調整に時間を要する場合があります。ご承知おきください。

12 学校行事の充実について

生徒アンケートでは、57%の生徒がA評価でA B評価を合わせると90%が「おおむねよい」という結果でした。保護者アンケートもA B評価合わせて87%が「おおむねよい」との結果でした。自由意見では運動会の競技種目の見直しや文化発表会を生徒の自主的なものへのご意見をいただきました。中学校の運動会や文化発表会は、学習指導要領に示された各教科の指導の成果を発表する場であり、高等学校等の体育祭・文化祭等とは性格が異なることをご理解ください。

13 その他

- ・生徒の国際交流については、3月に東京都教育委員会事業を活用して、生徒がオーストラリアの小学生とのテレビ電話交流を予定しています
- ・女子更衣室は、現在行われているプールの改修工事後に、プール棟の更衣室の活用方法を検討する際、あわせて考えます。
- ・生徒の携帯品で学校に置いてよいものについては、前期にもお答えしたように、4月に各教科担当から全生徒に指示してあります。本件は、新年度に新たに教科担当から生徒に指導するとともに、一覧表等を作成して周知するのでご確認ください。